

第 2 学年 国語科学習指導案

1 単元名

情報の受け取り手への道 パート1 ～根拠となる情報を整理してコメントする～

2 単元の目標

- (1) ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕 (2)ア
- (2) ①目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ
- (3) ①言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に
 にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元における言語活動

複数の情報から自分の主張を支える根拠となる情報を選び、文章にまとめる活動。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 C(2)ア)

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 (C(1)イ)	①提示された情報を積極的に読み、主張を支えるために効果的な根拠となる情報を選ぼうとしている。

5 単元について

(1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、複数の情報から自分の主張を支える根拠となる情報を選び、文章にまとめる活動を行う。これは、中学校学習指導要領国語編（平成29年告示）の第2学年、2〔思考力・判断力・表現力等〕C読むことの言語活動例「報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。」を踏まえている。また、本校国語科の今年度の研究主題の副題にある「正確に理解し、適切に表現する力を育てる言語活動の工夫」を意識した活動である。

情報化が加速度的に進展している現在、生徒たちは日常から膨大な量の情報に接している。受動的でも日々多くの情報が入ってくるこれからの時代、その莫大な情報を取捨選択しながら、自分に必要な情報を自分の中でどう解釈するかが大切である。今回、情報を読む際につけたい力を、第2学年「読むこと」の指導事項とリンクさせてステップに分け、以下のように整理した。

ステップ	該当指導事項	目標

	(知・技との関連)	
1	ア (2)ア)	書き手の主張や意見と、根拠となる文章中の例示（具体例）との関係を理解する。情報には必ず発信者があり、書き手の意見により情報が編集されていることを理解する。
2	イ (2)イ・(3)エ)	本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを踏まえ、書き手の主張を捉える。自分の目的に応じて、複数の情報から必要な情報を得る。
3 I	ウ (2)イ)	文章中の図や絵、グラフなどが文章の根拠を説明していたり、説明を補完し合っていたりすることを理解し、文章を読む際の手助けとする。
3 II	エ (1)オ)	書き手の立場や意見は文章にどう表れているか、観点（文章の構成、論理の展開、表現の工夫）を明確にして分析する。複数の情報を組み合わせて正しく情報を理解する。
3 III	オ (2)ア)	読み取った情報を自分の中の知識や経験と結び付けて解釈するとともに、他者の考えと対比して新たな視点をもつ。（考えの形成）

本単元では、情報の受け取り手の第一段階として、ステップ2を指導目標とする。日頃私たちが知り得るすべての情報は、書き手の考えによって編集されている。事実と意見とを読み分け、書き手の考えを捉えながら、情報を理解する力を育てたい。本単元で目指す、情報を理解する力とは、書き手の意図によって情報が編集されていることを理解し、複数の情報から自分の目的に合わせて情報を得る力である。目的に合わせて情報を得る際には、自分の受け取りたい情報だけをうのみにするのではなく、全体を捉え、必要に応じた取捨選択が大切である。全体を捉えるためには複数の情報にあたり、それぞれの情報を分析的に読むことが求められる。発信者の意図を捉えたり、偏った見方ではないかを検討したり、事実と意見を混同せずに読み分けたりする中で、日頃の情報を受け取る際の意識にもつなげ、情報の受け取り手としての第一歩としたい。

単元の冒頭で、教科書教材「自分で考える時間をもとう」を通読し、日常的に接している情報が編集されていることに気付かせ、情報と情報との関係について理解させる。その知識を踏まえ、本単元では、救急車の有料化に関するインターネットのニュース記事に対して、複数のデータから自分の考えの根拠となる具体例を取捨選択して編集し、コメントを投稿する活動を行う。スマートフォンが普及する現代、生徒たちはインターネットから情報を得る機会が多い。インターネットは情報を受け取るだけでなく、年齢を問わず誰でも情報を発信できるため、情報の受信者としての必要な力をつけるとともに、発信者としての意識も育てていく必要があると考え、今回の言語活動を設定した。インターネット上には、同一の事柄について述べられた多くのニュースがあるが、書き手の主張や意見によって、情報が取捨選択されたり言葉選びが工夫されたりし、読み手の受ける印象が大きく異なるものが多い。さらに、ニュース記事は、「ある事実」を伝えるために書かれるものが多いが、コラム記事やニュースに関するコメント欄の内容には書き手の主張や意見が大きく反映され、意見の根拠となる具体例は書き手によって取捨選択されている。今回、自分がコメント投稿者として使う情報を取捨選択することで、目的に合わせて情報を得る力を育てるとともに、編集を実感させる。また、友人の作成したコメントを読む中で、その際、同じ事柄に関する文章だとしても、書き手の考え方や主張によって、用いる具体例や論の展開が変わってくることに気付かせたい。令和6年度の市教研国語部会の副題にある通り、生徒たちにとって身近な教材であり、「社会に役立つ」実感を持たせることもねらいとした。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元の言語活動を通して、「目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈する」力を身に付けさせたい。

本単元では、コメントを書く際に複数のデータを提示し、自分の主張を伝えるためにどんな具体例を根拠として用いるかを考えさせる。

学習指導要領の2学年C読むこと(イ)では「適切な情報を得るためには、情報の適否を見極めながら自分の目的に応じて整理することが大切」とあり、その際には「どのような立場や目的で書かれたものなのかを確認した上で適切な情報を得るようにすることも重要である。」とある。複数の情報の中から自分の目的に合った情報を選ぶためには、それぞれの情報の内容を理解することが必要である。本単元では、生徒自身が情報を整理する際の思考を可視化できるよう、複数の情報を読んで自分の用いる情報を決める際に、使うか否かを記号で分類したり、使いたい部分に線を引いたりして取捨選択をさせる。また、コメントを書く前段階として、取捨選択した情報をワークシートに整理して書かせる。さらに、友人同士で整理した情報が主張に対して適切かどうかをアドバイスさせつ。これらの活動を通して、今後、文章を読む際に情報を整理する力や、情報の編集されている部分を意識しながら受け取ったりする意識を育てたい。

(3) 5の(1)の基盤となる言語活動

本単元で複数の情報として提示する情報は、文章だけでなく、図やグラフなどの非連続型テキストも含まれる。その情報を読む練習として、「国語1」(光村、p62-63)で、グラフの特徴と読み取りの学習をしている。また、今回コメントをする際には選んだ情報を引用する必要があるため、「国語1」(光村、p64-65)で引用の仕方について解説を行っている。

情報の関係性を捉える活動として、授業者自作の短文中から「事実と意見」「原因と結果」「意見と根拠」などを読み分ける活動を、2年次の帯単元として実施した。

7 指導と評価の計画(全3時間)

	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○情報が編集されていることを理解し、情報がどのように編集されているかを読み取る。	[知識・技能]①	ワークシート
2	○ニュースの概要を理解する。 ○ニュースに対して自分の考えを述べるために、複数の情報から自分の主張の根拠となる情報を考える。	[思考・判断・表現]① [主体的に学習に取り組む態度]①	自分の考えを伝えるコメント
3	○前時で作った準備メモを班の仲間と交流し、アドバイスをし合う。 ○自分の考えを伝えるコメントをGIGAタブで入力する。 ○本単元の振り返りを行う。	[思考・判断・表現]①	ワークシート GIGAタブ上のコメント

8 指導計画 (全3時間)

時	主たる学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法
1	<p>○普段の情報を受け取る手段、受け取り方について振り返る。「情報の受け取り手」としてどんな力を身につけたいかを考える。</p> <p>○教科書「自分で考える時間をもとう」を読む。筆者のスピーチ(教科書のQRコード)を視聴する。</p> <p>○本単元の見通しを持つ。</p> <p>○ワークシートの「文章中の情報を表す言葉」を確認する。</p> <p>○ワークシートの「練習問題」を基に、しっかりと情報を受け取るための練習をする。</p>	<p>・身近な問題を例に、生徒たちが「情報の受け取り手」として当事者意識を持てるようにする。 (「こんなことはありませんか？」例の例) *友人同士のトラブルの際、起こった事実 は一緒だが双方の言い分が食い違う。 *好きな YouTuber の情報発信の影響を受けて行動する。 *噂話を信じて、ショックを受ける。 *たくさんの方が言っている言葉は正しいのでアドバイス通り行動する。</p> <p>・「よく考えるようにしたい」などの感想で終わらせず、「よく考えると具体的な何をすることなのか」「なぜ考える必要があるのか」を考えさせる。</p> <p>・単元の目標と、言語活動を示す。</p> <p>・各情報の編集の観点を意識しながら、どんな意図で編集がされているのかを考えさせる。</p> <p>☆書きぶり(言葉) ☆事実に対して意見の付け加え ☆書き手の立場 ☆書き手の重点の置き方</p> <p>・「主張と根拠を読み取るためのポイント」を示す。</p> <p>①主張を読む際 *この文章を読んだ人はどんなことを考えると思うか。これからどんな行動をしようと思うか。 *評価する言葉に着目する。 *文末表現に着目する(～べき、など)。</p> <p>②根拠となる例示を読む際 *文章中の「事実」は何か。 *主張に対して説得力のある事実は何か。</p> <p>③考えを読む際 根拠(事実)から、書き手はどう考えて主張しているのか。</p>	<p>[知識・技能] ① ワークシート ・情報の違いから、書き手の考えや意図の違いを読み取れているかを確認する。</p> <p>C の生徒に対しては、まずはAとBでどこが違うのか、どんな印象の違いがあるのか考えさせ、それを基に、書き手の考えや意図を考えさせる。</p>

	<p>○練習問題を踏まえ、まとめとして「情報をしっかり受け取るためのポイント」を理解する。</p>	<p>・情報の受け取り手としてのステップの表を提示し、ゴールをイメージできるようにする。</p>	
2	<p>○GIGA タブでインターネットのニュースを提示し、今回の論点について理解する。</p> <p>○記事に対して簡単にコメントすることで、自分の考え、立場を考える。</p> <p>○自分がそのニュースにコメントをしたら、どんな風にコメントをするか、複数の情報から根拠として用いる情報を選んで補足資料に直接記入する。</p> <p>○コメントを書く準備として、選んだ情報やその根拠となる情報と、主張をつなぐ考えをワークシートに整理する。</p> <p>○次時の見通しを持つ。</p>	<p>・意見と根拠の間に、その2つをつなぐ「書き手の考え」があることを確認する。</p> <p>・グループ LINE くらいの気軽さでコメントするように促す。</p> <p>・救急車の有料化に対する複数の情報が載っているプリントを配布し、その中の一つ以上を自分の主張の根拠とするように指導する。</p> <p>・使える情報には○を、迷っている情報には△を、使わない情報には×を記入させ、取捨選択させる。使う情報の使いたい数字や文章には、色ペンなどで印をつけながら情報を読んでいくように声をかける。</p> <p>・ワークシートに書く際には、コメントとして打ち込めるよう、情報を整理して文章化させる。選んだ情報が多すぎる生徒に対しては、コメントが長文になりすぎないよう情報を絞ることを伝える。</p> <p>・前時の「編集された情報をしっかり受け取るためのポイント」を踏まえ、次時の確認ポイントを事前に示す。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕① <u>コメント</u></p> <p>・印をつけながら情報を整理して読み、自分の主張を支えるための根拠を選んでいるかを確認する。</p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕① <u>ワークシート・観察</u></p> <p>・提示された情報を積極的に読み、自分の主張を支えるために効果的な情報を選んで整理しているかを確認する。</p> <p>主張が考えられない生徒に対しては、追加の補足資料を配布する。</p> <p>つなぐ考えが考えられない生徒に対しては、選んだ具体例がどんな意図で調査されたか、情報の受け取り手がどんな考えを持つかを考えさせる。</p>
	<p>□何を伝えたいかが明確か。(主張と、根拠はつながっている?)</p> <p>□事実と、意見を混ぜていないか。</p> <p>□偏った見方になっていないか。(ほかの見方も視野に入れている?)</p> <p>□視野を限定していないか。(誤解を与える切り取り方をしていない?)</p>		

3	<p>○前時のワークシートを班で回し読みをする。「情報をしっかり受け取るためのポイント」をもとに、アドバイスをし合う。</p> <p>○友人からのアドバイスをもとに、情報を整理してコメントを投稿する。</p> <p>○友人の投稿したコメントを見ながら、気づいたこと、疑問点を班で話し合う。</p> <p>○本単元の振り返りを行う。</p>	<p>・3人（4人）班で、それぞれのワークシートを焦らず時間をかけて読んで上でアドバイスできるよう、ローテーションの時間を長めに設定する。</p> <p>・特に字数制限はしないが、前時の補足資料の情報をただ羅列するだけでなく、大事なところをピックアップしたり、情報を複数提示する際は関連付けてコメントを述べるなど、情報の受け取り手がいること意識させる。</p> <p>・「共感」できる文章を良い文章だと捉えがちだが、yahoo コメントにある「共感した」「なるほど」「うーん」のボタンを参考に、「なるほど」＝「説得力のある文」として、「なるほど」となる説得力のある文の特徴を考えさせる。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕</p> <p>① ワークシート・コメント</p> <p>・アドバイスをもとに情報を整理しながらコメントを付けているかを確認する。</p> <p>C の生徒に対しては、前時のワークシートをもとに、「主張」「根拠」「つなぐ考え」を入力すればコメントが完成するようなテンプレートを用意する。</p>
<p>〈本単元の振り返りの項目〉 (例)・本単元でできるようになったこと、身に付いた力。 ・本単元で意識したこと。 ・今後の学習や生活の中で生かせそうなこと。 ・工夫しようとしたが、十分ではなかったこと。</p>			

9 本時の計画 (3/3 時間目)

(1) 本時の目標

- ・自分の主張を支える情報を得るために複数の情報を整理し、コメントすることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (5分)	<p>○本時の見通しを持つ。</p>	<p>・本時のワークシートをもとに、本時の活動内容を説明し、50分間の見通しを持たせる。</p>	
<p>情報の受け取り手の立場から友人とアドバイスをし合い、コメントを書こう。</p>			

<p>展開 (35分)</p>	<p>○前時のワークシートを班で回し読みをする。「情報をしっかり受け取るためのポイント」をもとにしたチェック項目に沿って、アドバイスをし合う。(20分)</p>	<p>・3人(4人)班で、それぞれのワークシートを焦らず時間をかけて読んだ上でアドバイスできるよう、ローテーションの時間を長めに設定する。 (回し読み7分×2人+交流6分目安)</p>	<p>[知識・技能] ① ワークシート ・友人の情報を読み取り、「チェック項目」をもとに適切なアドバイスをしているかを確認する。</p>		
<p>★チェック項目</p> <p><input type="checkbox"/>何を伝えたいかが明確か。(主張と、根拠はつながっている?)</p> <p><input type="checkbox"/>事実と、意見を混ぜていないか。</p> <p><input type="checkbox"/>偏った見方になっていないか。(ほかの見方も視野に入れている?)</p> <p><input type="checkbox"/>視野を限定していないか。(誤解を与える切り取り方をしていない?)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他 気が付いたこと、アドバイス!</p>					
<p>○友人からのアドバイスをもとに、情報を整理してコメントを投稿する。(10分)</p> <p>○友人の投稿したコメントを見ながら、気づいたこと、疑問点を考える。(5分)</p>				<p>・特に字数制限はしないが、前時の補足資料の情報をただ羅列するだけでなく、大事なところをピックアップしたり、情報を複数提示する際は関連付けてコメントを述べたりするなど、情報の受け取り手がいることを意識させる。</p> <p>・自分と同じ情報を使っていたコメントが、自分のコメントとどんな違いがあるのかに着目させる。</p> <p>・同じ事柄に対する文章でも、筆者の意見によって用いる具体例が異なることや、具体例が同じでも筆者の考え方で意見が異なることに気付かせる。</p> <p>・「共感」できる文章を良い文章だと捉えがちだが、yahoo コメントにある「共感した」「なるほど」「うーん」のボタンを参考に、「なるほど」=「説得力のある文」として考えさせる。</p>	<p>[思考・判断・表現] ① ワークシート・コメント ・班員からのアドバイスをもとに、情報を整理しながらコメントがかけているかを確認する。</p>
<p>○本単元の振り返りを行う。</p>				<p>Cの生徒に対しては、前時のワークシートをもとに、「主張」「根拠」「つなぐ考え」を入力すればコメントが完成するようなテンプレートを用意する。</p>	
<p>まとめ (10分)</p>	<p>〈本単元の振り返りの項目〉 (例)・本単元でできるようになったこと、身に付いた力。 ・本単元で意識したこと。 ・今後の学習や生活の中で生かせそうなこと。 ・工夫しようとしたが、十分ではなかったこと。</p>				
<p>○全体で振り返りを共有する。 ○パート2への見通しを持つ。</p>					

(3) 本時の評価基準

- ・自分の主張を支える情報を得るために複数の情報を整理し、コメントしている。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ

1 0 単元の観点別学習状況の評価の総括

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒の状況 Bと判断される	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報を表す言葉」を理解している。(ワークシート①) ・文章の事実と意見を読み分けたり、ほかの見方を考えたりすることができている。(ワークシート①) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張を述べるために、使用する情報を整理してまとめている。(ワークシート②・③、コメント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を取捨選択するために印をつけながら積極的に読んでいるか。(補足資料) ・自己チェックの際に吟味し、修正しているか。(ワークシート②)
生徒の状況 Aと判断される	<ul style="list-style-type: none"> ・友人のコメントを読む際に、主張と根拠となる情報を読み分け、適切なアドバイスをしている。(ワークシート③、観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報を関連付けてまとめたり、情報を自分の中で整理しなおすなど、自分の主張を述べるために、根拠として効果的な情報になるよう使用する情報を整理し、まとめている。(ワークシート②、コメント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布された補足資料に加え、自分自身で情報を調べてまとめるなど、粘り強く根拠となる情報を整理しようとしているか。(ワークシート②、コメント、観察)

1 1。参考文献

- ・池上彰監修「池上彰さんと学ぶみんなのメディアリテラシー①メディアの役割とその仕組み」川端勝編、学研プラス、2015年、
- ・小林真人「生き抜くためのメディア読解」笠間書店、2021年
- ・下村健一「10代からの情報キャッチボール入門 使えるメディアリテラシー」岩波書店、2015年
- ・三浦準司「世界をカエル10代からの羅針盤 人間はだまされるーフェイクニュースを見分けるにはー」理論社、2017年